

1. 温泉の名称の統一表記

長門湯本温泉 / NAGATO YUMOTO ONSEN

- 湯本温泉旅館協同組合が「長門湯本温泉」で地域団体商標として商標登録している。
- 湯本が地名であること、全国には別の「湯本温泉」があることから、「長門湯本温泉」と呼称を統一する。

◇「ロゴ」「マーク」のデザイン案



◇サインの例



- 今後、「長門湯本温泉」として更なるブランディングを図っていくため、対外的な発信、サインなどの表示を統一させる。

2. シンボルマークについて

長門湯本温泉観光まちづくりマーク



◇デザインの考え方

縦の3本の曲線は長門湯本温泉を流れる音信川・大寧寺川と温泉を表します。観光まちづくりを頑張る長門湯本の門前・湯本・三ノ瀬の3地区が力を合わせる、という毛利元就の「3本の矢の教え」のような願いも込められています。いくつかのデザイン案の中から、住民の方に選んでいただきました。

- ・さらなるブランディングの推進のため、商標登録の検討を進めていたが、福岡県那珂川市の市章(地方公共団体を表示する標章)と類似していることが判明し、商標登録が難しいことが分かった。

※商標法第4条の規定により、市章等と類似の商標は登録できない。



那珂川市市章

那珂川市ホームページ 市章 より引用
<https://www.sity.nakagawa.lg.jp/soshiki/4/chosyo.html>

【参考】株式会社ハッピー（新潟県糸魚川市）



「誠実・新鮮・清潔」ハッピー WEBサイト
店舗情報より引用
<https://www.hapy.co.jp/shop/index.html>

- 商標登録は行わず、マークの著作権は市が有していることから、市で運用ルールを策定し、マークを継続して使用していく。
- 適切なルールの運用により、目的外で使用されることを避けて、観光地のシンボルマークとしてブランディングを図っていく。